

横浜市こども・子育て基本条例に基づく
令和7年度のこどもの意見表明に関する取組状況について

1 趣旨

横浜市こども・子育て基本条例（令和7年4月1日施行、以下「条例」という）第14条の規定に基づき、令和7年度のにぎわいスポーツ文化局における、こどもの意見表明に関する取組状況等について報告します。

2 条例における位置づけ

条例において、こども・子育てに関する施策を推進するに当たっては、こどもが、社会を構成する一員として、その年齢及び発達に応じて、意見を表明する機会を確保し、その意見を施策に反映させるよう努めること、こども・子育てに関連するあらゆる分野における施策を講ずるに当たっては、こどもの視点を重視するよう努めること等が市の責務として位置付けられています。（第5条）

また、市長は、毎年、こども・子育てに関する施策へのこどもの意見の反映の状況等について、市会に報告することとされています。（第14条）

今回報告する取組の範囲は、施策・事業・取組への反映を主な目的として、アンケートやワークショップ、会議、意見公募、インタビュー・ヒアリングなど、こどもから直接意見を聴いているもののうち、次の内容に該当するものとしています。

- 本市（指定管理者・委託事業者を含む）が主催・共催している
- こども・若者（未就学児から20代程度まで）が意見を聴く対象に含まれている
- すべての市民等を対象とする取組については、こども・若者から意見を聴くための工夫を行っている

（例）・難しい漢字や用語を使わずに、一般向けとは別に、こども・若者にわかりやすく書かれた資料を使っている
・特にこども・若者に特化した広報PRを行っている

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

取組①	学生主導による国際会議での課題解決プログラムの企画実装 【観光MICE振興課】	
取組内容	次世代育成の取組及びMICE産業活性化の視点から、本市におけるMICEの課題を、市内の学生とともに解決していく共創型課題解決プログラムを実施した。学生が実際のMICEの場における企画を提案・運営し、MICE参加者の対応を行った。	
対 象	大学生（12人）	
実施時期	令和7年6月～12月	
主な意見と活用方法等	本プログラムに参加した3大学の計3チームは、それぞれ国際会議参加者に向けたおもてなしプログラムを検討した。検討の過程では、「国際会議の場で自分たちが学んできた語学力を生かしたい」「横浜の歴史や文化を伝えたい」「横浜のSDGs商品の魅力を発信したい」といった意見が学生から挙がった。こうした意見を踏まえ、各チームは企画を具体化し、参加者同士の交流促進や横浜の魅力発信、市内回遊の促進を目的として、地元のお菓子の紹介や縁日体験など、オリジナリティあふれるコンテンツを提供した。	

企画検討の様子

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

取 組 ②	横浜未来の文化ビジョン策定に向けたこどもたちからの意見聴取 【文化振興課】	
取組内容	放課後キッズクラブでの文化事業実施の際に、参加児童へのシールアンケートを行った。また、次世代育成を目的とした、劇団四季のミュージカル鑑賞に招待した高校生へのアンケートを実施した。	
対 象	小学生（101人）、高校生（83人）	
実施時期	令和7年7月～8月	
主な意見と活用方法等	高校生から「ネットが普及している今だからこそ、自分よりもっと下の世代の子たちに『生』の文化体験の素晴らしさ・楽しさを知ってもらえる取組を進めてほしい。」「体験格差を減らす1つの目的としても、無料や割引などで体験ができる機会が増えればいいと思う。」などの意見があった。 これらを、「横浜未来の文化ビジョン」の「ビジョン1「誰もが自分の夢に向かって進めるまち」の実現のための施策」における「1-1■こどもたちの文化体験機会の提供」に反映した。	



小学生へのシールアンケート

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
1	「Live！横浜」参加者の満足度やニーズ等の実態把握	にぎわい創出戦略課	中学生、高校生(410人)	令和7年12月～令和8年3月	とても満足・やや満足と答えた割合は約97%だった。 参加者の約97%が満足と回答していることから、引き続き次世代育成事業を推進していく。
2	横浜市MICE次世代育成事業に参加したこどもからの意見聴取	観光MICE振興課	中学生、高校生(約10人)	令和8年2月1日	・高い満足度:多くの参加者が「とても楽しかった」「楽しかった」と好評だった。 ・業界への理解:「実際に口述講演を見学して、働き始めてからも成長できる機会があるいい仕事だと思った」という声が寄せられた。 ・意識変容:「実際に働いている方の声が聞けてよかった、もっと勉強して将来になりたいなと強く思った」という声が寄せられた。 ・活用方法:意見を基に子どもたちが夢やキャリアを思い描く手助けとなるようなプログラムとすることを引き続き検討するとともに、どのようなテーマが求められているのかを把握し、他の案件に打診していく。
3	学生主導による国際会議での課題解決プログラムの企画実装	観光MICE振興課	大学生(12人)	令和7年6月～12月	本プログラムに参加した3大学の計3チームは、それぞれ国際会議参加者に向けたおもてなしプログラムを検討した。検討の過程では、「国際会議の場で自分たちが学んできた語学力を生かしたい」「横浜の歴史や文化を伝えたい」「横浜のSDGs商品の魅力を発信したい」といった意見が学生から挙がった。こうした意見を踏まえ、各チームは企画を具体化し、参加者同士の交流促進や横浜の魅力発信、市内回遊の促進を目的として、地元のお菓子の紹介や縁日体験など、オリジナリティあふれるコンテンツを提供した。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
4	「YOKOHAMAスポーツレクリエーションフェスティバル 2025 初心者向けスポーツ体験教室」参加者アンケートの聴取	スポーツ振興課	小学1～6年生(約100人)	令和7年10月～11月	参加者の大多数から「大変満足」との評価であった。一部の参加者からは、「複数競技を体験したい」との意見もあったため、令和8年度は複数の競技を体験できるイベントとしての開催を検討している。
5	「親子ラグビー教室」参加者アンケートの聴取	スポーツ振興課	小学1～6年生(21人)	・令和7年10月12日 ・令和8年3月8日	ラグビーを初めて体験する参加者が多く、大多数の方から「大変満足」とのアンケート結果であった。令和8年度もパス練習やミニゲームを取り入れて、親子で楽しめるイベントを実施する。
6	①大会前日に未就学から小学校低学年までの子どもたちを対象にしたファミリー向けイベント開催 ②専門学生と連携した企画運営	スポーツ振興課	①未就学児～小学校低学年(30人)②専門学生(10人)	①令和7年10月 ②令和7年6月～10月	①イベントの満足度、満足した部分を聴取した結果、「フィニッシュテープを切る体験が楽しかった」という意見が多数寄せられたため、今後の企画では、「フィニッシュテープを切ってみよう」を重点的に実施するよう検討している。 ②イベント企画の構想段階において、学生がプレゼンを行い、その内容を基にイベントを実施した。学生の意見を反映した企画は以下のとおり。 ・ランナーの家族からのメッセージを会場で放送 ・前日イベント「フィニッシュテープを切ってみよう」のゴール付近に応援ゾーンを設置 今年度も引き続き、学生と意見交換を重ねながら、取組を進めていく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
7	世界トライアスロン横浜大会 ①ハマトラ未来プロジェクト(大会運営参加のためのワークショップ) ②キッズプログラムにおける参加者アンケート	スポーツ振興課	①大学生等(6人) ②小学生(53人)	①令和6年12月～令和8年3月 ②令和7年5月	①プロジェクトに参加した大学生等から、活動機会を増やしてほしいとの意見があったため、2026大会では従事できるポスト数の増加や活動時間の延長などを行い、活動機会の拡充を図った。 ②参加者のアンケートでは、プログラム内容について大多数の方から「大変満足」との評価を得た一方で、「集合場所がわかりにくい」「タイムスケジュールがタイトであった」「学生ともっと関わりたい」「他のプログラム内企画にも応募したかったが落選した」などの意見があった。2026大会では、集合場所やタイムスケジュールの見直しを行うとともに、参加者枠を拡大するなど、参加者の満足度向上に向けた取組を実施した。
8	たきがしら会館におけるキッズスペース利用者に対する意見聴取	スポーツ振興課	未就学児(こどもの意見数不明)	通年	武道場をキッズスペースとして活用するにあたり、利用者ニーズを把握するため、利用している子どもたちから意見を聴取した。 その結果、「新しい絵本やおもちゃ、遊具が欲しい」との要望が寄せられたため、絵本やおもちゃを追加するとともに、ミニ滑り台やミニジャングルジムを購入し、キッズスペースの充実を図った。
9	芸術文化教育プログラム推進事業の参加生徒からの意見聴取	文化振興課	小学生、中学生(7,563人)	令和7年6月～令和8年3月	「演奏している人の顔まで見える貴重な体験ができて良かった。」「自分で考えられることが楽しかった。みんなで案を出し合ってつくれたことが良かった。」「知らないことに挑戦すると良いことやいろいろなことを学べるんだなと知った。」「みんな一人ひとり違いがあって楽しかった。」「自分はダンスが苦手できないと思ったけどやってみると楽しかった。」などの意見があった。 子どもたちに楽しんでもらえる取組であることが確認でき、今後も継続して実施していく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
10	国内トップレベルの舞台の観劇機会の提供に係る次世代育成事業の参加生徒からの意見聴取	文化振興課	高校生(83人)	令和7年7月～8月	「舞台の素晴らしさを改めて感じた。」「演じている人たちをみて、一生懸命にやることはかっこいいことだと感じた。」「また見に行きたい。」「貴重な体験をありがとうございました。」などの意見があった。 高校生にとって舞台芸術を観劇する貴重な体験機会となり、今後も継続して実施していく。
11	横浜未来の文化ビジョン策定に向けた子どもたちからの意見聴取	文化振興課	小学生(101人)、高校生(83人)	令和7年7月～8月	高校生から「ネットが普及している今だからこそ、自分よりもっと下の世代の子たちに『生』の文化体験の素晴らしさ・楽しさを知ってもらえる取組を進めてほしい。」「体験格差を減らす1つの目的としても、無料や割引などで体験ができる機会が増えればいいと思う。」などの意見があった。 これらを、「横浜未来の文化ビジョン」の「ビジョン1「誰もが自分の夢に向かって進めるまち」の実現のための施策」における「1-1■子どもたちの文化体験機会の提供」に反映した。
12	横浜みなとみらいホール「金の卵を探しています。」参加者からの意見聴取	文化振興課	18歳以下(25人)	令和7年4月～令和7年5月	「ソロの演奏の機会しかなかったので、合奏やアンサンブルが勉強になった。」などの意見があった。 企画の特色であるコンチェルトソリストオーディションが好評を得ていることから、継続して実施していく。
13	横浜みなとみらいホール「みなとみらいSuper Big Band」参加者からの意見聴取	文化振興課	中学生、高校生(11人)	令和7年4月～令和8年3月	「楽器の技術だけではなく、チームでの協調性において成長できた。」「準備片付けや人間関係、講師の方々にアドバイスをもらうことを通して積極性の大切さをした。」「楽器の音色が改善されたと感じる。」などの意見があった。 演奏技術の向上に加え、協調性などの成長を実感する意見が多かったため、演奏曲の選定を含め、メンバーが主体的に行動する体制を継続して実施していく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
14	横浜みなとみらいホール「10代のためのパイプオルガン・レッスン」参加者からの意見聴取	文化振興課	高校生以下の10代(4人)	令和7年10月～令和8年3月	「本番に向けて着実に成長できた。」「内気な性格ですが、舞台に出るという目標を持ち、人生で忘れられない日を迎えることができました。今後の自信になりました。」などの意見があった。 修了演奏会を目標としたレッスンは、多くの受講者が成長を実感しており、高い評価が得られたことから、同様の構成で継続して実施していく。
15	横浜みなとみらいホール「こどもの日コンサート」における中学生プロデューサーによる公演制作	文化振興課	中学生(21人)	令和6年10月(検討開始)～令和7年5月(コンサート本番)	コンサートで演奏するメドレーの選曲、曲順(構成)、広報などについて、中学生プロデューサー会議で意見交換を行い、コンサートの企画に反映した。 「友情と希望」というテーマに沿って、演奏曲目「エルガー：行進曲〈威風堂々〉第1番」の日本語歌詞を中学生プロデューサーが考え、児童合唱で披露した。
16	横浜みなとみらいホール「こどもの日コンサート」における中学生プロデューサー参加者からの意見聴取	文化振興課	中学生(21人)	令和6年10月(検討開始)～令和7年5月(コンサート本番)	「最初は不安が大きかったが、意見を共有して良いものが作れて貴重な経験になった。」「今年の活動は自身にとって3回目であり、今年が参加できる最後の年ですが、今年の選曲会議が一番白熱したことが印象的でした。」「プロデューサー全員が一丸となって取り組んでいて、とても良いコンサートになったと思う。」などの意見があった。 参加者がやりがいや自身の成長を感じており、観客からも好評を得ているため、継続して実施していく。
17	横浜みなとみらいホール「こどもの日コンサート」来場者アンケート	文化振興課	20代までの来場者(47人)	令和7年5月5日	「とても素敵でした。中学生プロデューサーやりたいです。」「演奏も合唱も中学生がプロデュースというコンセプトも…素晴らしいかったです。また来年も来たいと思います。」などの意見があった。 家族で楽しめる内容や中学生プロデューサーの取組も好評のため、継続して実施していく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
18	横浜みなとみらいホール「こどもフェスタ みなとみらい遊音地」来場者アンケート	文化振興課	20代までの来場者 (57人)	令和7年8月7日～ 10日	「通常は見る事が出来ないホールの裏を見ることができ、益々みなとみらいホールのファンになりました。」などの意見があった。 夏休み期間にこどもと楽しめる多様なプログラムが好評であるため、一部内容の見直しを行い、継続して実施していく。
19	横浜能楽堂普及公演「こども狂言堂」におけるアンケート実施	文化振興課	18歳以下の来場者 (55人)	令和7年8月2日	「狂言が学校でやったものもあり、とてもわかりやすかったです。また、友達と一緒にやりたいです。」「教科書にもある有名なものでわかりやすかったです。」などの意見があった。 内容が親子ともに好評であることが確認できたため、翌年度も継続して実施していく。
20	横浜能楽堂「こども狂言ワークショップ」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生、中学生(12人)	令和7年8月4日～ 6日	「楽しい時間をありがとうございました。」「解説の先生がとてもよかった。まだまだお話をうかがいたかったです。お話ししたい事がたくさんあるのが伝わってくる様です。」などの意見があった。 内容が親子ともに好評であることが確認できたため、翌年度も継続して実施していく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
21	横浜市民ギャラリーあざみ野 「中高生を対象としたワーク ショップおよび、終了後アン ケート」	文化振興課	中学生、高校生(5 人)	令和7年8月6日	「とても面白かったです。初めての視点から街のことを 考えることができました。」「みんなで何かを作るという経 験があまり無かったので新鮮でした。アイデアを出し合い 一つにまとめてくのは難しかったけれど面白かったで す。」などの意見があった。 今後の横浜市民ギャラリーあざみ野の運営に活用して いく。
22	関内ホール「親子で楽しむ0歳 児からのコンサート参加者アン ケート」	文化振興課	未就学児、小学校 低学年(2人)	・令和7年8月31日 ・令和8年2月11日	「風船が楽しかった。」「ステージに上がったのが楽し かったです。」などの意見があった。 こどもが楽しめることで、親も大変満足されウェルビー イングなイベントであることが確認でき今後も継続して実 施していく。
23	関内ホール「馬車道アートフェ スタ2025 オカピのわくわく コンサート参加者アンケート」	文化振興課	未就学児、小学生、 中学生(17人)	令和7年11月3日	「楽しかった。」「とても楽しかったです。また来年も来た いです。」などの意見があった。 スチールパンという珍しい楽器という部分で大変好評 で、意見を踏まえ、いろんな楽器を使ったコンサートの新 たな企画にも繋げる。
24	関内ホール「1日オープンデー 「ピアノ解体ショー」参加者アン ケート」	文化振興課	未就学児、小学生、 中学生(34人)	令和7年11月3日	「ピアノのハンマーが動物の毛でできているのは知らな かったのでおどろきました。」「ぴあにすとなつてみたい とおもいました。」「ピアノの知らない所がわかったのだよ かったです。」などの意見があった。 こども、親にとっても貴重な体験となることが確認でき たため、継続して実施していく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
25	大佛次郎記念館「ビブリオバトル」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生、中学生、高校生(14人)	・令和7年11月2日 ・令和7年11月29日	「きんちょうして、うまきはなせなかったけれど、中学生になったらまたさんかしてみたいとおもいました。」「自らの発表を楽しむことができた上、他の発表もとても興味深く良い刺激になりました。機会があればまた参加したいです。」などの意見があった。 参加者の満足度も高く、次回への参加希望の声も多いため継続して実施していく。
26	横浜市長浜ホール「夏休みこども体験教室」本物の顕微鏡でミクロの世界を探検しよう！このワークショップにて小学生からアンケートの実施。	文化振興課	小学生(17人)	令和7年8月2日	「私は髪についているキューティクルが見たかったのですが、見れて嬉しかったです。」や「いつもはしれない小さな世界が体験出来て良かったです。」といった意見があった。 参加者の満足度も高く、顕微鏡で観察する微生物等の種類や、次年度開催のためのワークショップの内容にいかしている。
27	大倉山記念館「高校生ギャラリー・ミュージックフェスタ」におけるアンケート実施	文化振興課	横浜市北部の高校生徒(37人)	令和8年1月20日 ～1月25日	「友達が出展しているので見に来ました。思った以上に上手く書けていてびっくりした」「我々運動部だとこんなに細かいことは出来ないと思った」「デッサン画はプロの漫画家のように、すごいと思った」「楽器演奏でソロパートの女子は半端ない感じでびっくり」など、クオリティの高さに驚く声があった。 「もっと多くの作品を飾ってほしい」「生徒自身による作品解説の機会がほしい」という要望に応じて高校生の活躍の場の拡大を検討していく。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
28	大倉山記念館「第41回小さな丘のメリークリスマス・クリスマスがいっぱい展」におけるアンケート実施	文化振興課	未就学児、小学生低学年(61人)	令和7年12月6日～7日	「お父さんと外で椅子が作れておもしろかった」「バルーンのふうせんがもらえてうれしかった」「じっけんがたのしかった」「外でかったポップコーンがおいしかった」など、家庭では難しい体験が好評だった。 今後もこどもたちの要望を踏まえた企画を整えて事業を継続していく。
29	大倉山記念館「第41回大倉山こどもフェスティバル」におけるアンケート実施	文化振興課	未就学児、小学生低学年(51人)	令和7年5月3日～4日	「とても楽しかった」「また来ます」等の好評が得られた。また、コンサート、指揮者体験、レジンクラフトが特に強い支持があった。 アンケートを踏まえ、次回の改善に役立てる。
30	陶芸センター「夏休み親子陶芸体験」におけるアンケート実施	文化振興課	中学生以下の子ども(86人)	令和7年7月20日～25日	「楽しかった。」「作品に色を塗るのがよかったです。」「短時間で体験できるのがよかった。」「手をあげていなくても先生がおしえてくれていいところだなあと思いました。」「などの意見があった。 内容がこどもたちにとって好評であることが確認できたため、翌年度も実施予定。
31	陶芸センター「子ども電動ロクロ大会」におけるアンケート実施	文化振興課	中学生以下(37人)	令和7年7月29日	「知らないことを教えてくれたり、やってみたかったことをやれた。」「ロクロができるのが楽しかった。おもっていたよりむずかしかった。」「家庭ではできないような体験ができました。」「説明がわかりやすかった。」「などの意見があった。 内容がこどもたちにとって好評であることが確認できたため、翌年度も実施予定。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
32	吉野町市民プラザ自主事業「夏休みキッズアート講座」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生(19人)	令和7年7月27日	「楽しかった。」「少しむずかしいところもあったけど作品ができあがってうれしかった。」などの意見があった。 内容がこどもたちにとって好評であることが確認できたため、違ったテーマの題材にて翌年度も実施予定。
33	吉野町市民プラザ自主事業「夏休みおやこホール探検ツアー」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生(9人)	令和7年8月9日	「いすがはいったりもどったりたのしかった。」「じぶんでいろをかえられたのがおもしろかった。」「でんきやおとのしくみがおもしろかった。」などの意見があった。 内容がこどもたちにとって好評であることが確認できたため、翌年度も実施予定。
34	吉野町市民プラザ自主事業「おやこ映像講座」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生、中学生(3人)	令和7年11月9日	「楽しかった。またいきたい。」「へんしゅうするのがたのしかった。」などの意見があった。 内容が参加したこどもたちにとって好評であることが確認できたが応募が少数だったため基本的に隔年開催であるが次回同形態で行うかどうか検討中。
35	吉野町市民プラザ自主事業「和太鼓ワークショップ」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生、中学生(9人)	令和8年3月15日	「リズムがたのしかった。」「えんそうしたことですっきりした。」「たくさんのたいこがあったのと先生のたいこの話がおもしろかった。」「即興で全てしている所がすごかったです。」などの意見があった。 今回初開催のイベントであったが内容が参加したこどもたちにとって好評であることが確認できたが応募が少数だったため次回開催を検討中。

4 にぎわいスポーツ文化局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
36	岩間市民プラザ自主事業「子どものための夏休み日本舞踊ワークショップ」における意見聴取	文化振興課	小学生(17人)	令和7年7月30日 ～8月2日	「浴衣の着方を覚えたので、盆踊り大会などで自分で着たり帯をしめたりしたい。」「友だちに教えたい。」などの意見があった。 講師と共有し、参加者の意見から改善が必要な点等があれば検討している。こどもたちにも好評であることが確認できたため、概ね同様の内容で翌年度も実施予定。
37	横浜にぎわい座自主事業「マジック体験講座」におけるアンケート実施	文化振興課	小学生(7人)	令和7年8月3日	「マジックが習えてたのしかった」「話のしかた、もののみせ方などマジックだけに通じること以外も教えてくれたため、とても役に立った」などの意見があった。 事業の評価や改善のための材料として活用した。 内容がこどもたちにとって好評であることが確認できたため、概ね同様の内容で翌年度も実施予定。
38	野庭の魅力発信を目指した壁画等パブリックアート	創造都市推進課	制限なし(約350人) ※平易な言葉を使うとともに、選択肢の数を減らすなど、こどもでも回答しやすい内容とした。	令和7年10月5日	赤、黄、緑、青、紫から選んでもらった。結果としては青色が若干多かったが全体的にバランスよく投票され、色々な色を使ってほしいという意見をもらいました。 それを踏まえ、制作にあたっては多くの色を使ったデザインを計画した。